

2009年4月号

Vol. 6

発行者／財団法人千葉県文化振興財団 理事長 須藤 敏行
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp ホームページ <http://www.cbs.or.jp>

§ 大盛況だった 県民合唱団15周年公演 §

2月に15周年公演を行った、県民合唱団による演奏会「ヴェルディ：レクイエム」。その演奏会でソリストを務めて頂いた、日本を代表するバリトン歌手の直野資^{なおの たすく}さんに演奏会の感想を伺いました。



◆ 本日の演奏会を終えられての感想をお願いします。

合唱団の皆さんが、この大曲をここまで良く頑張られたという気持ちの中で、自分もその空気の中に浸れた喜びがあります。本番までに努力した結果はお客様にちゃんと伝わるものです。もちろんプレッシャーもかかりますけど……それもまた頑張れるための1つの要因になるのではないのでしょうか。

◆ 県民合唱は今年15周年を迎えました。この15年で音楽を取り巻く環境はどのように変化してきたと感じていらっしゃいますか。

機械が発達しすぎてしまったこと…昨今のCDなどは当然のように加工した音楽になってしまっていて、より良いものをお客様に、という気持ちの現れなのかもしれません。生の歌をやる立場の人間としては、そのことはどうなのかな、と思ったりもします。『いかにして声が聞こえるか。』そういうレッスンを受けているのに、マイクで拾って拡声してくれる…だんだんと努力をしなくてもいい時代になるのかもしれないですね。所詮人間なんて、楽な方がいいに決まっていますから。ちょっとのことで良い声になるのなら、付ける薬がないかと思う位じゃないでしょうか(笑)…もちろん、CDで音楽を聴くということを否定するものではありません。でもそんな時代であるからこそ、生の舞台・生の音楽を観に、聴きにきて頂きたいということに繋がるのだと思います。その為の勉強を我々はしているのですから。

◆ 音楽を楽しむための座右の銘・マジックワードなどありましたらお聞かせください。

「啐啄同時(そったくどうじ)」という言葉があるのですが。卵か孵るときに、ひな鳥が中から「出たい!」というところで、内側から殻をつつきます。でも殻は固くて一人では出られない。そんな時に親鳥が外からつついて殻を破るのを手伝ってやる。その瞬間の、あ・うんの呼吸が大事だぞ、と、そういう意味の言葉です。お互いの呼吸…気が合うとかを含めて、そういうことが芸術の世界ではとても大切だと思います。演奏家とお客さんでも、身内同士でも、何でも。そういう関係を築けることが素晴らしいのではないのでしょうか。



東京藝術大学で教鞭もお執りになられている直野さん。自治体等との連携を通じて、オペラのプロデュースにも積極的に取り組まれていると伺います。インタビュー当日はこちらからいろいろとお話をお伺いしていたつもりが、後半では「最近の千葉はどうですか?」「広報はどんな手段でやっていますか?」等々…歌い手としてだけでなく、舞台制作者としての眼も持つ直野さんをお相手に、気づけばこちらの方がインタビューを受けていたような(!)良い舞台を作りたい、より多くの方に足を運んで頂きたい…直野さんの言葉からはそんな熱意が溢れ出していました。

県民合唱団員募集のおしらせ

当財団では、千葉県文化会館や千葉県東総文化会館の大ホールを舞台に毎年、県民の皆さんによる特別合唱団を作り、ヘンデル「メサイヤ」、バッハ「短調ミサ」、オペラ「魔笛」などの大作と呼ばれている作品に挑んでいます。

参加者の皆さんが楽しく参加し歌うことができるよう練習内容や演奏曲目に創意工夫を凝らし、魅力ある合唱団にして行きたいと思っております。

さあ、私達と一緒に歌いませんか。
歌の好きな方、合唱の好きな方、どんな方でも大歓迎です!



お問い合わせは 財団法人千葉県文化振興財団 TEL 043-222-0077 まで

◆◆◆ 舞台芸術企画募集 対象公演のご紹介 ◆◆◆

*** 千葉県文化会館大ホール *** **館山市詩吟連盟** **10/10(土)**



歌謡吟でつづる戦国絵巻「南総里見氏の興亡」「維新の風」

地元館山市の貴重な文化資源である「里見氏」にまつわる物語と幕末から明治初期の混乱期の様子を描いた物語を、日本版オペレッタと呼ばれる「歌謡吟」にして上演します。

「歌謡吟」とは、詩吟にナレーションやBGM、舞台照明などを取り入れた総合舞台芸術で三橋美智也さんや村田英雄さんを始めとする多くの有名歌手も作品を持っています。

出演／館山市詩吟連盟、館山市日本舞踊連盟、コロムビア専属プロ吟詠家、クラウン専属プロ吟詠家 ほか

*** 千葉県文化会館小ホール *** **地球温暖化問題を舞台芸術を通して伝える会** **9/5(土)**

ホッキョクグマのしろぷう君 ～アニメと朗読劇～

プロの声優達と親交のある市川市の団体が、朗読劇とオリジナルアニメーションを使い幅広い世代に地球温暖化問題に関心を持ってもらいたいという思いから本公演を企画。

温暖化によって氷が融け始めている北極。そこに暮らすホッキョクグマのしろぷう君を通じて、分かりやすく環境問題を提起します。いま自分達が出来ることを改めて考えてみませんか。

出演／林毅史 ほか



*** 千葉県東総文化会館 *** **アミーチ・ダモーレ** **12/20(日)**



オペラ名場面による「愛の出会いと別れ」

現在は東京を中心に各地で演奏活動をしている、地元出身の“アミーチ・ダモーレ”。オペラの名場面を通じ、それぞれの作品の「愛の形」を歌と演技と語りでお届けします。音楽やナレーションを通して、各曲に共通する愛することの“喜び”や“悲しみ”をテーマに、会場の皆さんをオペラの世界へとご案内いたします。

出演／アミーチ・ダモーレ 高木智子 境さなえ 大木真理子 鈴木雅美 永井千恵

伊藤友恵 鈴木孝樹 野中康隆 小林未奈子 小池加菜子

*** 青葉の森公園芸術文化ホール *** **ミュージカル劇団 ティンカーベル** **6/13(土)**

オリジナルミュージカル「やさしさの化石」／「ドリーム・プラネット～夢惑星」

私たちの住む房総半島。豊かな自然に恵まれたこの地域には、私たちの先祖が大事にしていた「生命のいとなみ」が受け継がれています。『やさしさの化石』は、古代の村を舞台に、少女みさきの出生の秘密、飲めば若返るといふ「いのちの水」をめぐるファンタジー。自然の恵みと、人間の欲望の愚かさとの対比を描いています。もう一作の『ドリーム・プラネット～夢惑星』は、少女みいちゃんと猫のミーシャたちの見るさまざまな夢をつづった物語。小さなお子様から楽しめる舞台です。



~~~~~ 公演についてのお問い合わせは各ホールまでお願いします ~~~~~

千葉県文化会館 043-222-0201 / 千葉県東総文化会館 0479-64-2001 / 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

## ちよっと一息。憩いの場として ～千葉県東総文化会館 ギャラリー～

当財団では、県内を拠点に活躍している芸術家の作品や伝統的工芸品の展示スペースとして、それぞれのホールの特色を生かしたギャラリーを開催しています。今回は旭市の千葉県東総文化会館のギャラリーをご紹介します。東総のギャラリーでは、大ホールの緞帳をデザインして頂いた版画家の土屋金司氏の作品展をはじめ、地元旭市や東総地域の個人・団体の作品を中心に、絵画、書道、写真はもちろん、切り絵や似顔絵、押し花など、幅広い作品を年数回に分け展示を行っています。

来館する多くのお客様に鑑賞して頂けるよう、大ホールロビー内に開設していますので、ゆっくり鑑賞されたい方は催し物のない日がお薦めです。作者ご本人が来館されることもあり、直接お話を伺えるかも？(催し物の予定などは直接会館にご確認ください。)

4月以降の展示予定・・・神崎 大明 チュニア展(写真) 4月21日～5月31日

旭市文化協会(絵画・押花・書道・写真) 6月9日～10月4日

※ 日程については都合により変更する場合がございます。

## 編集後記

ここ数年、少し早くなった感の有る桜の開花ですが、今年は久しぶりに入社・入学式の時期に満開を迎えました。日常の風景を薄桃色に染め上げる圧倒的な存在感。やはり桜というのは門出を飾るのに相応しい、素晴らしい花だと思います。日本の暦が4月を初めとしているのも、きっと桜という花があったからなのでは・・・と、毎年この時期になるとふと考えたりします。

09年度の財団事業のラインナップが出揃いました。また来年の桜までの間、皆さんに沢山の感動をお届け出来る様、頑張ってお参りたいと思います。